

# himac APPLICATION

No.26 OCTOBER 1989

- 題目** 分離用小形超遠心機によるリポタンパク質の分離  
**機種** CS120形日立分離用小形超遠心機  
 RP120ATアングルロータ  
**概要** RP120ATアングルロータにより動物血清中からリポタンパク質を迅速に分離した例

血清中に含まれているリポタンパク質は、脂質の代謝に密接な関係があります。ここでは、分離用小形超遠心機を用いて、ハムスター血清中よりリポタンパク質の分離を行いました。

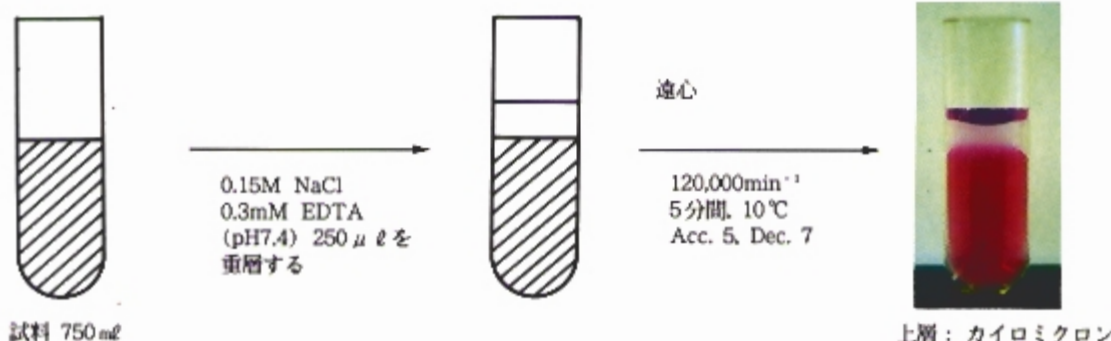
## 1. 使用機種

本体 : CS120形日立分離用小形超遠心機  
 ロータ : RP120ATアングルロータ  
 チューブ : 1PCチューブ

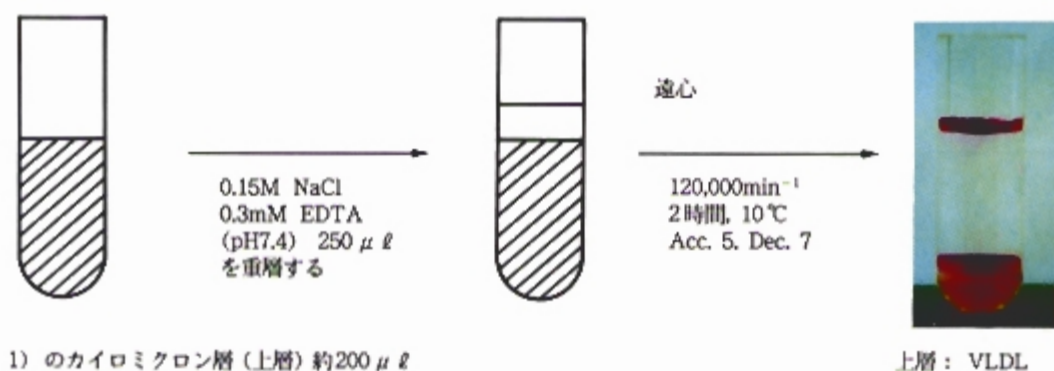
## 2. 操作および分離結果

実験は、目視による観察ができるよう、試料にFAT RED 7B 3  $\mu\ell$  を混合して行いました。"

### 1) カイロミクロンの分離 ( $\rho < 1.006\text{g/ml}$ )



### 2) VLDLの分離 ( $\rho < 1.006$ )



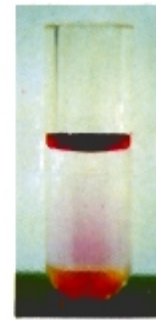
1) のカイロミクロン層 (上層) 約200  $\mu\ell$  を分取後、下層750  $\mu\ell$  をチューブの底から取り、別のチューブに移す。

3) LDLの分離 ( $1.006 < \rho < 1.063$ )



KBr62.6mgを溶解後、遠心

$120,000\text{min}^{-1}$   
2時間, 10℃  
Acc. 9, Dec. 7



上層: LDL

2) のVLDL層(上層)約200 $\mu\ell$ を分取後、下層750 $\mu\ell$ をチューブの底から取り、別のチューブに移す

4) HDLの分離 ( $1.063 < \rho < 1.21$ )



KBr121.6mgを溶解後、遠心

$120,000\text{min}^{-1}$   
3時間, 10℃  
Acc. 9, Dec. 7



上層: HDL  
下層: VHDL  
アルブミン等

3) のLDL層(上層)約200 $\mu\ell$ を分取後、下層500 $\mu\ell$ をチューブの底から取り、別のチューブに移す。

参考文献

1) T. J. Bronzert, H. B. Brewer, Clin. Chem., 23, 2089 (1977).

尚、当資料に関する御質問等がございましたら日立工機(株)精機事業部応用開発担当 四柳宛御連絡ください。

日製産業株式會社

本社 東京都港区西新橋1丁目24番14号

〒105 電話 東京 (03)504-7211(ダイヤルイン)

札幌(011)221-7241	仙台(022)264-2211	筑波(0298)23-7391	北関東(0486)53-2341
横浜(045)671-5421	新潟(0252)41-3011	北陸(0764)24-3386	豊田(0565)28-5191
名古屋(052)583-5841	京都(075)241-1591	大阪(06)366-2551	四国(0878)62-3391
岡山(0864)25-1316	広島(082)221-4514	九州(092)721-3501	沖縄(0988)78-1311

日立工機株式會社

本社工場 〒312 茨城県勝田市武田1060番地 電話 勝田 (0292) 73-8111(大代表) 0120-024125